

世界最高水準の技術と心で 関節痛の悩みを解消



PROFILE
 ひらかわ かずお
平川 和男氏 横浜市立大学医学部
 大学院博士課程修了。
 米国クローブランドクリニック留学、横浜市立
 大学附属市民総合医療センター整形外科
 講師、平塚共済病院整形外科医長、湘南鎌
 倉総合病院整形外科部長などを経て、現在
 は湘南鎌倉人工関節センター・センター長

「命にかかわらない病気だからこそ、普通のことが普通にできるように、
 明るく楽しい人生を過ごせるようになってほしい」
 人工関節手術を数多くこなす平川和男医師(湘南鎌倉人工関節センター・センター長)に、
 最小侵襲手術(MIS)についてお話を伺いました。



最小侵襲手術の様子



湘南鎌倉人工関節センターの医師とスタッフの皆さん。
 後列左から4人目が平川センター長

股関節の最小侵襲手術とは？

「極小の皮膚の傷と筋肉、靭帯も必要最小限のダメージを与えるだけで行える手術のことを最小侵襲手術(MIS/Minimally Invasive Surgery)と言います。一般的な人工股関節手術では、手術後の傷が15〜20cmですが、この方法では腿の付け根の外側に6〜8cmの傷で済みます。また、股関節の周りの筋肉や靭帯を切る範囲も必要最小限にとどめられるので、手術後の回復、歩行、社会復帰も早くなります。早期退院ができるので、合併症のリスクが少なく、医療費も抑えられるというメリットもあります」

センターの現状

「2004年の開設以来、当センターで最小侵襲手術を受けた患者数は4,300人を超えました(2011年9月現在)。ま



小さな切開。
 ここから人工関節を入れる

写真提供: 湘南鎌倉人工関節センター

た、2011年1月からは、膝関節部門を湘南鎌倉病院に移設し、股関節の手術のみに特化した結果、1年半待ちだった外来診察は、1カ月待ちにまで短縮することが出来ました」

心のこもった対応を

「手術を決断するまでには、様々な葛藤があると思います。ですから、手術前に患者様にはもちろん、ご家族にも詳しく説明をしています。さらに手術後の説明も徹底的に行います。私たちはQOL(クオリティオブライフ)痛みのない生活)のシミュレーションをしてあげることが使命だと思っています。スタッフも含め、センター全体で心のこもった対応を心がけています」

心強い医療ボランティアの存在

「当センターには、3人のボランティアスタッフがおり、3人とも、当センターで人工関節手術を受けた元患者さんです。生の声を聞くことで、患者様の不安も解消されています」

世界最高水準を目指して

「私たちは、平均的な医療ではなく、世界水準よりも上を目指すことに妥協を許しません。『手術したことが分からないくらい、シャキッと、普通に歩ける』ようにしてあげることが私たちの目標。手術を担当するのは、志の高い優秀な医師ばかりです。もともと自分自身の体について勉強してから、手術を検討していただきたい。そのためにも人工関節置換術の理解を深めてもらおうと、10月16日(日)に公開医学講座を開きます。当日は医師や看護師、理学療法士の講演のほか、術後患者様による体験談、また個別医療相談のコナーも併設します。分からないこと、不安なことを我慢せず、気軽に相談に来てほしいと思っています」

元患者さんの話

生まれつき
 股関節が悪
 く、48歳の時
 に痛みが増
 し、51歳で手術



中島房栄さん
 (職員)

を決定。手術を受けて元気に立ち
 御恩返しに気持ちでボランティアを
 始めましたが、たくさんの患者さん
 のお話をうかがう事ができて大変
 勉強になっています。と中島さん。
 現在は、旅行や加圧トレーニングを
 始めるなど、生き生きとした毎日を
 過ごす方、医療事務の資格も取り、
 当センター職員として働いています。

公開医学講座 in みなとみらい

～人工関節置換術の
 理解を深めるために～

要予約
 入場無料

日時 10月16日(日)
 14時～16時

場所 パンパシフィック横浜ベイホテル東急
 地下2階 クイーンズグランドボールルーム

予約
 問合せ ☎0467(47)2377
 湘南鎌倉人工関節センター

湘南鎌倉人工関節センター
 ☎0467(47)2377 http://www.skjrc.jp
 〒247-0061 鎌倉市台5丁目4-17